

シニア住宅2棟取得

不動産販売事業などを手がけるラ・アトレ（東京都港区）は、名古屋市のサービス付き高齢者向け住宅2棟を取得した。同社が高齢

者住宅を取得するのは初のケース。今回取得したのは、ナーシングホームJAPANの建物およびナーシングホームOASISの土地・建物。取得価格は非公表。



▲ナーシングホームJAPAN建物外観

両物件ともナーシングホーム（同）が介護・医療サービスを提供。JAPANの1階には同者運営の在宅支援診療所が入居し、両物件に24時間体制での在宅医療を提供する。JAPANは末期がん患者に特化、OASISは難

ラ・アトレ 名古屋のホスピスを

病患者を対象にしたターミナルケアを提供するホスピス住宅として機能し、医療機関からの紹介などにより満室稼働を維持するなど、高い人気を博している。また、リエゾン・パートナーズ秋元二郎社長は「サービス付き住宅は、物件ごとのサービス品質のばらつきが大

きいたため、これまでは特定施設に比べ、不動産投資の対象になりにくかった。し

なお、今回の物件取得は、高齢者住宅分野に特化したアドバイザリーサービスを提供するリエゾン・パートナーズ（同）と、ナーシングホームの大株主であるファンド運用会社J-STARに、ケアの品質に優れた物件であれば、十分に投資対象となるだろう」とコメントする。

・アトレでは「特に具体的な数値目標は掲げていないが、良質なケアが提供されている物件であれば、両社との提携の元に住宅の類型を問わず取得を検討したい」と語る。